

日本共産党の小田桐たかしです、まず、今朝早朝、サッカーワールドカップにおいて、日本代表が予選を突破いたしました。また、大相撲本場所において、市内県立高校卒業生が、平幕ながら見事優勝をいたしました。心からお祝いと、今後のご活躍をお祈り申し上げ、通告に従い、大きく3点お聞きします。

まず第1、次年度予算編成を含め市長の政治姿勢を、5点にわたりお聞きします。

まず(1)、物価等高騰対策です。

相次ぐ物価等高騰が、市民の暮らし上も、中小零細事業者の経営上も、厳しい実態が我が党に寄せられています。そこでまず、市民の厳しい暮らしぶりや営業実態について、市長はどのように認識しているのか、見解を求めます。

我が党は、これまでの取り組みに加え、水道料金の引き下げや学校給食費第2子半額など市単独で実施できる物価等高騰対策は残されており、実施すべきと考えています。そこで、物価等高騰対策について、市はどのような対策を講じ、どんな効果を市は得ようとしているのか、お答えください。

次に(2)、指定ごみ袋についてです。

オレンジシールが張り出され、ごみ集積所に残されているケースは、年度当初と比較すればずいぶん少なくなったと感じています。一方で、市民からは不満感がいまだに聞かれ、納得感は広がっていないのではないのでしょうか。

その原因は、使用強制を続けているからです。しかも、指定袋は値上がりし続けているわけですからなおさらです。

そこで、指定袋について、もともといくらだったものが、今はいくらに値上がりしていると認識していますか、また、年度当初と比較し、オレンジシールの張り出し枚数は何処まで減少してきましたか、それはイエローシール張り出し枚数と比較した場合、大きな違いはないのでしょうか、確認します。あわせて、生産会社からすれば、値上がり傾向は今後どういう見通しなのか、まずお答え下さい。

私は4月以降、「全てのモノが値上がりしている今、指定袋の値上がりだけで、家計を圧迫しているとは考えていない」との答弁を担当部長が繰り返していることに、大きな違和感を持っています。

それは消費者が選択した結果ではなく、わざわざ袋が指定し、それ以外の袋であれば、ルールを守っても回収しないという行政権を一方的に行使している

側が開き直っているだけだからです。そこで、市民からの反発を広げるような施策は、次年度、中止しないんですか、答弁を求めます。

次に（３）、ジェンダー平等社会の実現についてです。

選択制夫婦別姓や女性差別撤廃条約選択議定書の批准、「L G B T理解増進法案」早期制定、予期せぬ妊娠等を防止する取り組みなど、本市議会では過去、国会や政府等への意見書を様々採択し、提出するなど取り組みを広げてきました。しかし、市長執行部と同調できる政策もあれば、見解が相違する施策もあるでしょう。そこで、市議会が採択し、国会等へ提出してきたジェンダー平等の実現にむけた意見書の諸課題について、市としてどのような見解をお持ちですか、また、次年度にどのような取り組みを実施されますか答弁を求めます。あわせて、受験シーズンを控え、痴漢撲滅の運動を昨年同様実施されるのかどうか、市長として、いま最も憂慮し、注視している課題は何か、お答えください。

次に（４）、本市の職員体制についてです。

私は、R3年度一般会計総括質疑で、虐待・DVの相談体制は、国のガイドラインに近づける方向性であること、不登校等の相談支援体制は人員拡充することを市長答弁で確認してきました。しかし、それらの取り組みが総合計画上、令和5、6、7年度の3年間でどこまで進むのか、その計画に基づき次年度どこまで担保されているのか、大変危惧しています。

また、保健にとどまらず、福祉、医療、介護、子育てなど需要が増大し、かつ計画的人材育成求められている保健師をはじめ、救急隊の増隊、土木技師や建築技師の増員に加え、複数の学校で、複数の学校担任がないという緊急事態の中で、教育委員会に配置転換する教員を可能な限り減らし、一般事務職で代替可能な業務は切り替えることを改めて求めるものです。そこで、必要に応じた人員の増員を計画的に実施し、市民福祉の向上に欠かせない適正な人員体制の構築について、答弁を求めます。

また、会計年度任用職員、一般的には非正規職員の処遇改善についても、3点お聞きします。一つは、人数及び必要経費の推移について、この20年前、10年前と比較して令和4年度どう推移し、令和5年度の増減の方向性はどうか、まずお答えください。

二つは、10年前と比較し、休暇の取得を含め会計年度任用職員の処遇はどのように改善されてきましたか、特に今年8月、人事院勧告で示された「勤勉手当引き上げ」の反映はどうされるんですかお答えください。

三つは、公募によらない任用の最終年度、三年目を迎えることから、継続的任用の保障について、どういう方針をお持ちですか、答弁を求めます。併せて、私は特に、井崎市長就任後20年間、「公務の運営においては任期の定めのない常勤職員を中心にする」という総務省の原則が本市の場合、反故され続けた結果、常勤職員より会計年度任用職員の業務歴が長くなっているような課、会計年度任用職員の増員ですら放置されている課は多数に上っているのではないかと危惧するものです。改善に向けた方策も含め、お答えください。

次に（5）、公共工事現場での安全対策です。

小山小学校に続き、南流山図書館・児童センターと公共事業の場における事故が立て続けに発生しています。そこで、その原因をどう把握し、事故の再発防止はもとより、安全管理の徹底をどう図るのか、お答えください。

次に第2、教育行政について、2点、お聞きします。

まず（1）、市内小中学校のプール及び給食調理場は、校舎同様に老朽化しているが、計画的な改修や設備等の更新についてどのように取り組んできたのか。あわせて、市内小中学校のプールおよび給食調理場について、築年数から10年毎に区切った場合、それぞれいくつの施設がありますか？お答えください。

（2）学校プールの老朽化・故障に伴う試行的代替措置の方法と評価、及び授業時間の確保や移動、経費等の課題をどう把握し、今後の方針策定についてどう検討されるのか。答弁を求めます。

最後、第3、中部地域のまちづくり、（1）初石駅施設整備事業の進捗及西口整備についてです。

今議会、確認すべきことは明確です。初石駅舎の施設整備について、供用開始までの進捗率は現在、どこまで進んでいるのですか。またそもそも供用開始は、いつ頃の予定が、いつ頃になる見通しなのか、その遅延の原因も含め、お答えください。

また、駅舎改修に伴って西口利用についても、当初の見込みと状況が変わってきました。そこで、西口整備について、市が想定している暫定もしくは暫々の利用はいつ頃までと見通しているのか、答弁を求めます。

